

令和5年度

住吉小学校 3年生

地域とともにある学校づくり

コミュニティ・スクールの充実

西東京ふるさと探究学習

単元名：「西東京市の食について考えよう」
(活動名)

- ねらい：
- ・西東京市で作られている食について調べたり、体験したりする活動を通して、西東京市の食材のよさを知ることができる。
 - ・食について理解を深める過程を通して分かったことを今後の生活に生かし、食材を通じて地域への愛着をもつ。

【西東京市の農業の現状（10月12日）】

西東京市役所産業振興課の方をお招きして、西東京市ではキャベツや小松菜などの多くの野菜や植木を栽培していることを学びました。また、「めぐみちゃん」のキャラクターを使って農業振興をしていることを知りました。クイズや質疑応答を通して野菜や農業についての知識を深めることができました。

西東京市の農家が年々減っている現状を知り、対策として農家の野菜を自分たちがもっとたくさん買えばよいと考える児童もいました。



【学校給食の食材（10月25日）】

住吉小学校の栄養士さんに、住吉小学校の献立や地場野菜を使った給食について教えていただきました。献立のメニューは、児童の体の健康バランスを考えて作られていること、地場野菜を使うことが鮮度やコストの面でも優れていることを学びました。

自分たちの給食が多くの人の努力で作られていることを知り、給食を残さずたくさん食べようとする児童もいました。

【地域の農家での野菜の収穫体験（11月14日）】

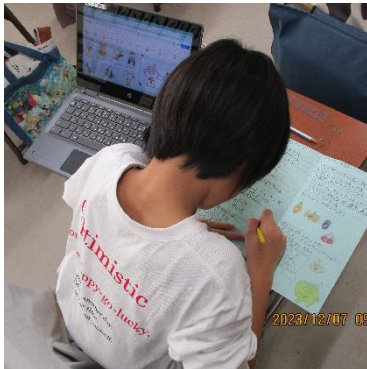
農家見学などでお世話になっている「グリーンズファーム下田」さんの畑へ行き、キャベツと大根の収穫体験をしました。キャベツは収穫の時にナイフを使うことや、大根には大きな葉っぱがついていることなど、今まで知らなかった畑での様子を知ることができました。

収穫を体験することで、育てて収穫する人がいるからこそ、私たちが食材を食べられることに気付き、これからも地域の野菜をもっと食べていきたいと考える児童もいました。



【学んだことをパンフレットにまとめて発表（12月15日）】

西東京市の農業について、学んだことをパンフレットにまとめました。インタビューしたことや、体験したことをまとめることで、情報活用能力が高まりました。また、西東京市の農業の課題を発見し、課題の解決や改善に向けて、今後の自分たちの生活でできることを考えました。学んだことを今後の生活に生かそうとする力が身に付きました。



まとめ

今年度も地域の方々のご協力で、地域に根差した食の学習をすることができました。昨年まで収穫体験はしていなかったのですが、本年度より収穫を実際に体験することで、より地域の農業や食材への愛着や価値を見出すことができました。

児童は自分たちの住んでいる西東京市の農業の現状や課題だけでなく、身近な給食の献立にも地場野菜が多く使われていることを知りました。また、収穫体験を通して身近な地域で作られている野菜についての興味や関心も高まり、もっと地域のことを知りたいという探究心を育むことができました。今後も地域の公共施設や福祉など、地域に関わる学習をすすめていきます。